**作成年月日 2005 年 4 月28 日（第 2 版）
*　　　　　　　2002 年 10 月 17 日

許可番号 26B1X00003000006 号
文書番号 M511-1043A
P/N 503-56563

器０９医療用エックス線装置及び医療用エックス線装置用エックス線管
汎用Ｘ線診断装置用非電動式患者台（ｺｰﾄﾞ：40654000）
一般医療機器・特定保守管理医療機器・設置管理医療機器

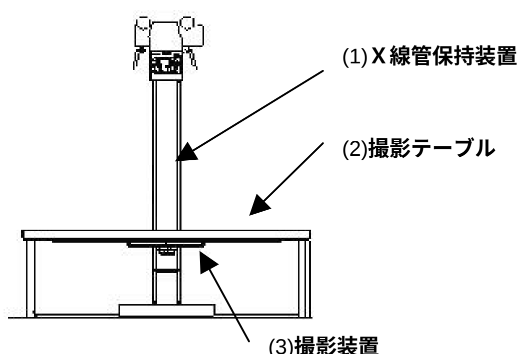
Ｘ線撮影台　ＨＲ－１００

【形状・構造及び原理等】

1)　形状

本装置は、以下の各ユニットから構成されます。

(1)　Ｘ線管保持装置
(2)　撮影テーブル
(3)　撮影装置



2)　原理

Ｘ線管保持装置の操作部で本体を操作（Ｘ線管装置の長手動と上下動）し照射野を調整します。フィルムを撮影装置に装填後、撮影します。
（X 線管装置，可動絞りは本装置に含まれません。）

【使用目的・効能又は効果】

汎用Ｘ線装置を必要とする一般/平面画像の撮影や特別な診断撮影の場合に患者の体位を調整・保持するよう設計されており、Ｘ線管装置及び可動絞りを組合せ、また被検者を保持しＸ線高電圧装置および撮影スタンドと組み合わせて、被検者の立位や臥位の X 線撮影を行うこと。

【品目仕様等】

項目	内容	備考
X線焦点上下動	85cm～175cm、手動操作	試験方法は自社基準による
X線焦点長手動	105cm、手動操作	
X線管装置の傾斜	-90°～90°、手動操作	
テーブルの大きさ	180cm×72cm	
テーブルの高さ	55cm	
撮影装置の移動量	108cm	
最大許容負荷質量	135kg	

1)　オプション
・アクリル天板

2)　機能

番号	項目		仕様値または機能説明
1	管球上下バランス		Ｘ線管球の質量を上下方向に懸垂しバランスさせる。
2	管球上下動		Ｘ線管球を上下動可能に案内保持する。
3	管球長手動		Ｘ線管球を天板の長手方向に案内保持する。
4	管球水平軸回転動		Ｘ線管球を水平軸回りに回転保持する。
5	撮影装置長手動		撮影装置を天板の長手方向に案内保持する。
6	患者保持		患者を天板上に水平に保持する。

【操作方法又は使用方法等】

使用方法の概要は下記のとおりです。詳細については取扱説明書の第 3 章を参照してください。

１．使用前の作業
（１）装置の電源を投入する。
（２）日常の始業点検（装置の周囲、操作盤動作等）を実施する。

２．被検者の準備
（１）被検者を撮影テーブルにのせる。

３．位置決め
（１）Ｘ線管の位置決め、角度付けを行う。

４．撮影
（１）組合わせるＸ線高電圧発生器で撮影条件を設定し、撮影を行う。

５．使用後の作業
（１）装置の電源を切断する。

取扱説明書を必ずご参照ください。

【使用上の注意】

警告

① Ｘ線発生時には、被検査者以外の人は、検査室にとどまらないように注意すること。
② やむをえず、患者以外の人が検査室内にとどまる必要がある時は、十分な防護処置をすること。
③ 例えば精神の問題がある人など患者自身の状態によって患者本人を危険な状態にすると判断される場合は使用しないこと。

禁忌・禁止

① この装置は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。
② 操作部は液体の侵入に対して保護されていません。操作部の表面あるいは内部に液体をこぼさないこと。

重要な基本的注意

① 検査を開始する前に装置に異常がないこと、構成品、付属品が確実に固定されていることを確認すること。
② 装置移動時は、患者の手足指などが挟まれないよう注意すること。
③ 操作中は、患者の様子を常に監視し、必要に応じて患者に適切な指示を行うこと。
④ 患者や装置に異常が発見されたときは、患者に安全な状態で装置の動きを止めるなど、適切な処置を行うこと。

相互作用

① 本装置の傍で携帯電話など電磁波を発生する機器の使用は、装置に障害を及ぼす恐れがあるので使用しないこと。

高齢者適用

① 高齢者は握力など体力に問題がある場合は介助者を付けるなどして検査に臨むこと。

妊婦、産婦、授乳婦及び小児への適用

① 本装置を妊婦および妊娠の疑いのある者および授乳中の者へ使用する場合は、医師の指示のもとで慎重に行うこと。
② 小児の検査の場合は介助者を付けること。

その他の注意事項

① この装置を廃棄する場合は、産業廃棄物となります。必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼すること。
② 詳細な使用上の注意は、装置付属の取扱説明書を参照すること。
③ 本装置の操作は、診療放射線技師またはそれに代わる資格をお持ちの方が行うこと。
④ 検査開始前に必ず、ワイヤーロープの点検を行うこと。
⑤ 装置の操作部に、不用意に患者や介護者が触れないように注意し、安全を確認した上で操作を行うこと。
⑥ 患者をベッドに乗せ降ろしするときは十分に注意を払い、十分な介護を行うこと。特に患者の頭がＸ線管装置にぶつからないように注意すること。
⑦ 患者をベッドに乗せた後、患者の手や指を撮影装置やＸ線管保持装置と天板の間で挟まないように注意すること。
⑧ Ｘ線管保持装置の移動範囲には物を置かないこと。
⑨ 検査について理解と協力を得ることのできるように患者に説明を行うこと。
⑩ 患者がスカーフ、スカート等の長い衣服を着ているとき、髪の毛が長いとき、ネックレス等をしているときなど、長く垂れ下がるものを身につけているときは、着替えさせるか、外させるか、固定させるかの指示をすること。
⑪ 装置に尿、薬品等の液体がかかった時は、直ちに電源を遮断し、洗浄、乾燥の後、安全を確認してから再び装置を使用すること。
⑫ 万一、煙等が出た場合は、分電盤内の遮断機を切り、直ちにシステムへの電源を遮断すること。
⑬ Ｘ線発生装置の操作パネル上のスイッチで電源を切ること。
⑭ 装置、またはその一部を本来の目的以外の用途に使用しないこと。装置の破損や事故を引き起こす恐れがあります。
⑮ 本装置は永久設置型機器です。移動しないこと。やむを得ず移動する場合は必ず当社サービス担当店にご連絡すること。
⑯ 装置の表面を洗浄するときは、電源を切った後、水または薄めた中性洗剤を用いて、やわらかな布で拭き取ること。
有機溶剤は使用しないこと。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

① 輸送・保管条件

下記の環境条件下で輸送・保管してください：

温度	湿度※	気圧
-10～60℃	10～95%RH	700～1060hPa

※結露しないよう配慮してください。

② 動作保証条件

下記の環境条件下で使用してください：

	温度	湿度※	気圧
検査室	10～40℃	30～85%RH	700～1060hPa

※結露しないよう配慮してください。

所要電源　ＤＣ２４Ｖ（Ｘ線高電圧装置から受電）
接地条件　Ｄ種接地（第三種接地）以上

③ 耐用期間［自己認証（当社データ）による］

指定された保守点検を実施し、指定された使用条件で使われた場合、１０年とします。使用状況により差異が生じることがあります。

④ 定期交換部品

HR-100 の定期交換部品は下記のとおりです。詳細は取扱説明書を参照ください。

品目	部品名	数量	交換頻度	交換作業者
消耗品	ｴｲﾃﾞﾝｼﾞｼｬｸ	2	5 年毎	ｻｰﾋﾞｽ担当者

【保守・点検に係る事項】

1) 使用者による日常点検

始業・終業点検は必ず行ってください。詳細については取扱説明書の第 4 章を参照してください。

項目	点検要項
外観	外装の破損（へこみ，破れ等）はないか ケーブル類に傷やよじれはないか
全体	グラツキが大きくなっていないか
床面走行	ブレーキは解除されるか スライド時に引っかかりや異音はないか
上下動	ブレーキは解除されるか スライド時に引っかかりや異音はないか
管球回転	ブレーキは解除されるか 回転時に引っかかりや異音はないか
操作パネル	スイッチの動作は正常か グリップの固定は確実か

取扱説明書を必ずご参照ください。

2)　定期点検
本装置は精密機器ですので、サービス担当者による、
定期的な保守点検を実施してください。実施しない
場合、装置寿命の短縮や重大な故障に繋がる恐れが
あります。

異常な点、ご不審な点があれば装置を分解せず当社サービス担
当店に御連絡ください。
保守契約制度を御用意してあります。詳しくは、当社サービス
担当店にお問い合わせください。
また、装置の廃棄についてはサービス連絡先に御連絡ください。

【包装】

一式

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者名称		：株式会社島津製作所
同	住所	：京都府京都市中京区西ノ京桑原町 1
同	電話番号	：075-823-1271

製造業者名称		：島根島津株式会社
同	住所	：島根県簸川郡斐川町大字直江町 2698
同	電話番号	：0853-72-5006

取扱説明書を必ずご参照ください。